

令和4年度

事業報告書

2023年（令和5年）6月



公益財団法人

横浜市スポーツ協会

YOKOHAMA SPORT ASSOCIATION

【目次】

I 事業の状況	- 1 -
1 競技スポーツ推進事業【定款第4条第1項第1号】	- 1 -
2 地域スポーツ支援事業【定款第4条第1項第1号、第5号】	- 3 -
3 健康・体力づくりの推進事業【定款第4条第1項第1号、第3号、4号、5号】	- 4 -
4 スポーツ人材の養成・育成・活用事業【定款第4条第1項第1号、第4号】	- 7 -
5 スポーツ情報の収集・提供と調査研究【定款第4条第1項第2号】	- 8 -
6 インクルーシブスポーツ推進事業【定款第4条第1項第1号、第5号】	- 9 -
7 スポーツ団体育成・支援等事業【定款第4条第1項第1号、第5条第1項第2号】	- 9 -
8 スポーツ施設の運営事業【定款第4条第1項第5号、第5条】	- 10 -
9 その他事業	- 18 -
II 処務の概要	- 19 -
1 評議員に関する事項【定款第11条】	- 19 -
2 役員に関する事項【定款第22条】	- 21 -
3 職員に関する事項【定款第42条】	- 22 -
4 委員会に関する事項等【定款第43条】	- 22 -
5 加盟団体に関する事項【定款第44条】	- 23 -
III 資料	- 24 -
1 中期計画達成状況	- 25 -
2 表彰	- 26 -
3 賛助会員	- 31 -

I 事業の状況

1 競技スポーツ推進事業【定款第4条第1項第1号】

幅広い市民を対象とした各種競技会・大会等のスポーツを実践できる場と機会を提供することで、競技スポーツを推進しました。

(1) スポーツ助成事業

ア 第18回都市間交流スポーツ横浜大会

6月11日（土）から7月10日（日）の期間、開催都市として11種目の大会を実施しました。

イ 市民スポーツ大会・市民マスターズスポーツ大会

競技団体が主管し大会運営を行う、市民スポーツ大会及び市民マスターズ大会を実施しました。

	市民スポーツ大会	市民マスターズスポーツ大会
実施競技数	34 競技(うち2競技中止)	26 競技(うち3競技中止)
参加人数	29,760 人(前年度 20,669 人)	9,000 人(前年度 5,280 人)

種目	テニス	軟式野球	ソフトボール	ラグビー	弓道	バレーボール	馬術
市民大会	3,185 人	354 人	4,560 人	438 人	559 人	1,100 人	29 人
マスターズ	52 人	1,197 人	740 人	210	114 人	—	—

種目	陸上	バスケットボール	ボクシング	アーチェリー	ソフトテニス	ウェイトリフティング	相撲
市民大会	2,041 人	3,500 人	20 人	270 人	5,517 人	36 人	12 人
マスターズ	145 人	300 人	—	—	138 人	—	中止

種目	体操	少林寺拳法	空手道	卓球	ハンドボール	日本拳法	剣道
市民大会	257 人	115 人	465 人	445 人	120 人	24 人	123 人
マスターズ	—	10 人	70 人	183 人	620 人	—	108 人

種目	綱引	水泳	バドミントン	インディアカ	サッカー	カヌー	ダンススポーツ
市民大会	190 人	1,876 人	1,523 人	134 人	1,360 人	中止	622 人
マスターズ	—	784 人	—	107 人	2,990 人	中止	140 人

種目	ボウリング	スキー	なぎなた	パワーリフティング	ボート	スポーツチャンバラ	ゲートボール
市民大会	130 人	226 人	38 人	中止	398 人	93 人	—
マスターズ	24 人	55 人	—	中止	416 人	15 人	355 人

種目	グラウンドゴルフ
市民大会	—
マスターズ	227 人

ウ 各区交流スポーツ大会

加盟地域団体及び競技団体と連携して、市内 18 区間のスポーツ交流大会を実施しました。

種目	卓球	剣道	バドミントン	インディアカ	弓道
参加人数	190 人	78 人	210 人	107 人	142 人
合計	727 人(前年度 1,959 人)				

エ ジュニア競技力向上事業(合同強化練習)

競技団体の開催する、小・中・高校生を対象にした合同強化練習事業を実施しました。

実施団体	15 団体
参加人数	2,099 人(前年度 836 人)

(2)スポーツ大会支援事業

大規模スポーツ大会の円滑な開催のため、運営組織への参画等の支援活動を行いました。

ア 世界トライアスロンシリーズ横浜大会支援事業

(大会主催:2022 世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会)

部門	【エリート】 【エリートパラトライアスロン】 世界のトップアスリートによる 世界最高峰の国際大会	【エイジ】 都市型トライアスロンとして日 本最大規模の一般大会
開催日	5 月 14 日(土)	5 月 15 日(日)
コース	山下公園、日本大通り、 赤レンガ倉庫、大さん橋	山下公園、山下ふ頭、 象の鼻パーク
出走者数	134 人 (2021 年:183 人)	1,444 人 (2021 年:1,043 人)
参加国数	31 の国及び地域	
観戦者数	積極的な観客誘導を行わなかったため計測していない	



2022 年エリート女子優勝選手

イ 横浜シーサイドトライアスロン大会支援事業

(大会主催:横浜シーサイドトライアスロン大会実行委員会)

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、万全の安全対策を講じるための体制確保の見通しが立たないなど、安全で安心な大会開催のための十分な準備を整えることが困難であるため、大会を中止としました。

ウ 横浜マラソン 2022 支援事業

(大会主催:横浜マラソン組織委員会)

秋晴れの中、3 年ぶりのリアル開催となった「横浜マラソン 2022」は、2 万人超のランナーの皆さまが横浜の街を駆け抜けました。



横浜マラソン 2022

種 目	フルマラソン、みなとみらい 7km ラン、車いすチャレンジ、オンラインマラソン
開催日	10月30日(日) ※オンラインマラソン:10月30日(日)~11月13日(日)
参加人数	22,457人
完走者数	20,912人
完走率	93.1%
沿道応援者数	約43万人

(3)スポーツ大会派遣事業

第34回全国健康福祉祭 神奈川・横浜・川崎・相模原大会(ねんりんピックかながわ2022)参加選手選考に必要な支援・助成を行うと共に、横浜市代表選手を大会に派遣しました。



ねんりんピック出場選手

2 地域スポーツ支援事業【定款第4条第1項第1号、第5号】

身近な場所で気軽にスポーツやレクリエーション活動に参加できる環境を整えることで、地域のスポーツ活動を推進しました。

(1)地域スポーツ支援事業

ア 地域へのスポーツ支援

区民に密着した活動を行っている加盟地域団体や、スポーツ推進委員、地域で活動しているスポーツ関連団体等と連携・協力し、身近な場所で気軽にスポーツに親しむことができるよう、地域のスポーツ振興を支援しました。

イ さわやかスポーツ事業

いつでもどこでも気軽にできるニュースポーツ「ヨコハマさわやかスポーツ」の普及を、地区活動等を通じて行いました。

事業名	開催回数	延べ参加人数
地区活動	4,335回	79,886人
各区大会	34回	3,073人
各区フェスティバル	42回	11,511人
講習会	25回	551人
その他	1,359回	70,682人
普及委員会	134回	1,494人
合計	5,929回	167,197人
(前年度)	(5,613回)	(108,323人)



さわやかスポーツ体験会

ウ スポーツ・レクリエーションフェスティバル実行委員会支援事業

9月から11月にかけて、市内スポーツ施設で開催されたスポーツイベント「横浜元気!! スポーツ・レクリエーションフェスティバル2022」の実行委員会事務局業務を担いました。

開催日	令和4年9月4日(日)~令和4年11月6日(日) [中央イベント]令和4年10月9日(日)
開催会場	28会場(関連イベント・中止会場も含む) 新横浜公園、14スポーツセンター、野外活動施設、横浜武道館、横浜国際プール等
参加人数	7,906人 (前年度 2,343人)

(2)スポーツイベント開催事業

市民が気軽に参加できる各種スポーツイベントを開催しました。

ア YOKOHAMA ビーチスポーツフェスタ 2022

YOKOHAMA ビーチスポーツフェスタ 2022 を令和4年8月6日(土)7日(日)、海の公園にて実施しました。

実施種目	ビーチバレーボール、ビーチサッカー、ビーチテニス ※ビーチハンドボールは中止
参加人数	1,182人



ビーチスポーツフェスタ

イ 第33回よこはまシティウォーク

第33回よこはまシティウォークを令和5年3月21日(火・祝)、三ツ沢公園陸上競技場を発着会場として実施しました。また、同会場にて「スポーツフェスタ」を開催し、多くの市民でにぎわいました。

◆参加人数・・・3,414人(スポーツフェスタ含む)



よこはまシティウォーク

3 健康・体力づくりの推進事業【定款第4条第1項第1号、第3号、第4号、第5号】

心身両面の健康保持のため、ライフステージに応じたスポーツ活動や健康づくりのための取り組みを進めました。

(1)子どもの体力向上事業

ア 子どもの体力向上支援事業

小学校、学校保健委員会、地域人材等と協働し、小学校等で児童向けの体力向上や運動の習慣化につながる取り組み、保護者を対象とした運動啓発などを行いました。

特に学校保健委員会では、けが予防や姿勢の改善などをテーマに、ストレッチや講座なども行いました。

いきいきキッズ事業		
	小学校・中学校	その他
実施回数	延べ50校、111回	8回
参加人数	延べ7,044人	536人

イ はつらつキンダー事業

保育園において、運動・遊びを通じて体を動かす楽しさを伝える中で、幼児期に必要な多様な動きの習得や生涯にわたってスポーツに親しむための基盤づくりにつながる事業を実施しました。

事業名	保育園訪問運動指導(はつらつキンダー事業)
実施回数(日)	延べ 21 園、227 回
参加人数	延べ 6,802 人

ウ スポーツ少年団事業

市内のスポーツ少年団の普及と活動の活性化を進めながら、スポーツを通じた青少年の心身の健全な育成と、生涯スポーツの普及振興を図りました。

登録数	12 競技、28 団体		
指導者数	145 人	団員数	498 人

エ こどもマリンスクール事業

帆船日本丸を活用し、小学4～6年生を対象に、集団生活を通して、船員活動体験や海に関する学習、レクリエーション活動を行いました。

実施日	6月 26 日(日)～9月 25 日(日)
会場	帆船日本丸 等
参加人数	56 人



こどもマリンスクール

(2)健康づくり支援事業

ア 講座・セミナー

地域指導者の養成やスキルの維持向上のための各種講座を開催しました。超高齢社会に対応した介護予防に関わる講座を中心に、障害者スポーツ文化センター横浜ラポールと連携した講座等を開催し、地域で活躍できる人材を育成しました。

講座名	実施回数	参加人数
介護予防運動指導員 養成講座	1 回 (eラーニング 4 週間・集合 3 日)	7 人
介護予防運動ワークショップ	3 回	36 人
高齢者・障害者運動支援プログラム講座	1 回(2 日間)	17 人
姿勢改善プログラムワークショップ講座	2 回	22 人
スポーツリズムトレーニング ディフューザー養成講座	1 回	8 人
リズムステップ講習会	1 回	9 人
合計		99 人

イ 健康体力づくり派遣指導事業

地域へ出向いて、生活習慣の改善や介護予防の推進に必要な運動習慣のきっかけづくりなどにつながるプログラムを提供し、市民の健康づくりを推進しました。

◆参加人数・・・19,425人

ウ ウェルネスプログラムサービス事業

オリジナルプログラム「YSA ジョイウェルコンセプト」を活用して、「関節ととのえ塾」とパーソナルコンディショニング事業を実施しました。

サービス名	参加人数
関節ととのえ塾(集団教室)	64人
パーソナルコンディショニング	96人



関節ととのえ塾

エ 健康経営支援事業

働く世代の健康づくりを支援するため、企業に向けたプログラム提案（開発）や健康づくりの専門家派遣、健康経営に取り組む企業や団体のサポートに加え、民間企業と連携し、スポーツ庁公募事業においてAIを活用した実証を行いました。

(3)スポーツデザイン事業

ア セミナー事業

市内各企業と共創事業を進めてきた結果、関係企業との連携によるSDGsの達成に関するセミナーを計画しましたが、年度内の開催に至りませんでした。

イ コンサル事業

PFI事業及び横浜BUNTAIにおけるメインアリーナの開発に関するコンサルティング契約に基づき、サポートを行いました。

ウ オンライン事業

市内スポーツセンターとも連携し、コロナ禍での運動機会の喪失を防ぐため、オンライン事業を実施しました。チケットの販売では、セット券の販売等も行いながら、定期的な機会を用意しました。

◆主な教室

教室名
乾杯のための宅トレ SATURDAY!
美しい姿勢をトレーニングでつくる 姿勢デザイン
Home work out45
姿勢改善！初めてのピラティスオンライン
オンラインフェス

◆開催実績

教室開催数	参加人数
215回(うち1回はイベント)	878人

エ ゆるスポーツ事業

民間企業共創として、ワールドポーターズと連携し、来館者がSDGsに親しむことのできるイベント、『SDGs フェス』を9月17日から計6日間開催しました。イベントでは、廃材を活用したモルックワークショップなどを実施しました。



SDGs フェス

小学校ではスポーツ共創事業として、学校やクラスの「オリジナルゆるスポーツ」を創りました。創ったスポーツは、学校内や三ッ沢公園感謝 Day などでも披露し、地域の方と一緒にスポーツに親しむ機会を提供しました。



オ ツーリズム事業

横浜武道館をホームアリーナとする「横浜エクセレンス」のホームゲーム来場者を対象に、観戦前後の市内回遊に係る実態やニーズを把握し、市内回遊促進につなげるための方法を検証しました。

4 スポーツ人材の養成・育成・活用事業【定款第4条第1項第1号、第4号】

スポーツ指導者・ボランティアの養成を通じ、市民が運動・スポーツに対する正しい知識や技術を身に付けられる環境づくりを行いました。

(1) 指導者養成事業

ア スポーツ人材養成・活用事業

身近な地域でスポーツ振興のために活動できる人材を養成するため、「横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座」を開催しました。

また、講座修了者を含め、地域での活動者を支えるため、横浜市スポーツ人材活用システム登録者制度を運用し、研修、活動機会の情報提供、指導現場でおこる事故等に対する補償制度の案内を行いました。

講習会名	開催日	参加人数
横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座・スポーツリーダー養成講座	6月18・25日・7月2日	83人
横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座・集合講座	11月～2月 全7回	64人
横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座・オンライン講座	11月～2月 全4回	90人
横浜市スポーツ人材活用システム登録者研修会	10月2日	31人
合計		268人

横浜市スポーツ人材活用システム活動実績	活動登録者数	177人
	活用件数(延べ)	19,416件
	指導対象者数(延べ)	362,756人

イ 指導者技術向上事業

競技スポーツの指導技術、競技技術、審判技術などの向上を目的に、加盟競技団体・加盟地域団体が開催する研修会等に、経費の一部を助成しました。

実施団体	参加人数	実施団体	参加人数
横浜市インディアカ協会	15人	神奈川区スポーツ協会	96人
横浜市空手道連盟	92人	横浜市ダンススポーツ連盟	83人
横浜市山岳協会	19人	泉区スポーツ協会	72人
横浜市卓球協会	140人	横浜市ゲートボール協会	52人
横浜市レクリエーション連合	9人	横浜市グラウンド・ゴルフ協会	50人
横浜市日本拳法連盟	10人	横浜市ボート協会	41人
横浜市スキー協会	32人	合計	711人

ウ ボランティアセンター事業

横浜市スポーツボランティアセンターを運営し、市民のボランティア参加を推進するとともに、同センター

の会員に対し、横浜マラソンなど17件のボランティア募集の情報提供を行いました。

また、令和5年2月5日（日）神奈川公会堂にて、「スポーツボランティアの魅力とこれから」をテーマに、スポーツボランティアシンポジウムを開催しました。

◆参加人数・・・238人

なお、会員登録数は、令和5年3月末時点で、13,667人となっています。



横浜マラソンボランティア

5 スポーツ情報の収集・提供と調査研究【定款第4条第1項第2号】

スポーツ情報の発信やスポーツに関する調査を通じて、スポーツを「知る」機会を提供しました。

(1) スポーツ情報サイト運営事業

横浜市内の最新のスポーツ・レクリエーション情報を幅広く収集し、市民が「する」「みる」「ささえる」といったスポーツ活動に参加しやすくなるよう、スポーツ情報サイト「ハマスポ」やSNS等を活用してスポーツ情報を提供しました。

主なコンテンツ	・市内スポーツイベント等のお知らせ・レポート記事(98件) ・著名人コラム （執筆者：あんどうたかお氏、苅部俊二氏、障害者スポーツ文化センター横浜ラポール） ・ウォーキングコース情報(458件) 各団体からの情報をまとめて提供				
保有情報件数	施設情報 1,474件	サークル情報 77件	指導者情報 63件	イベント・教室情報 783件	合計 2,397件
アクセス数	2,637,070件(前年度 2,779,467件)				

6 インクルーシブスポーツ推進事業【定款第4条第1項第1号、第5号】

障害の有無や年齢、性別、国籍等に関わらず、すべての人がスポーツに親しむことができる環境を整備しました。

(1) インクルーシブスポーツ推進事業

加盟競技団体と協働したパラスポーツ競技大会（陸上競技、水泳、ボウリング）の実施や「なんぶべーす ぱふおーまんすしょー」、「インクルーシブ陸上」等のイベントを開催し、インクルーシブスポーツの推進を図りました。

◆参加人数・・・2,027人

なお、令和4年11月23日（水・祝）三ツ沢公園で実施を予定していたインクルーシブスポーツフェスタ2022は荒天のため中止しました。

7 スポーツ団体育成・支援等事業【定款第4条第1項第1号、第5条第1項第2号】

スポーツに関わる団体等を支援し、横浜のスポーツの振興を図りました。

(1) 顕彰事業

ア 横浜スポーツ表彰事業

体育・スポーツの普及振興に顕著な功績のあったもの、また、著名な大会で優秀な成績を収めた個人179人、団体10チームを令和5年1月27日（金）横浜武道館において表彰しました。

また、2022北京冬季オリンピック競技大会及び第24回夏季デフリンピック競技大会（ブラジル）において3位まで入賞された4人に対し、横浜市と共同で「横浜市スポーツ栄誉賞」を贈呈しました。

イ スポーツ普及功労賞事業

加盟地域団体構成員で、地域においてスポーツの普及振興やスポーツクラブ育成のために寄与された個人26人に対し、横浜スポーツ普及功労賞を授与しました。

ウ 新春横浜スポーツ人の集い

スポーツ分野で活躍・功労のあった方々やスポーツ関係者との交流促進を図るため、令和5年1月27日（金）横浜武道館において、賀詞交換会を開催する予定でしたが、中止しました。

(2) 団体支援事業

ア 加盟団体助成事業

加盟団体の組織運営や各団体が自主的に実施するスポーツの普及・振興事業に係る経費に対して、助成金を交付しました。

イ 屋内施設優先調整事業

各区スポーツセンター等屋内スポーツ施設の優先利用に係る調整事務を行いました。

(3) 来浜事業

横浜市少年自然の家が設置されている群馬県昭和村及び静岡県南伊豆町の児童を横浜に招待し、横浜への理解と親しみを深めてもらう事業を予定していましたが、中止しました。

8 スポーツ施設の運営事業【定款第4条第1項第5号、第5条】

35施設の安全・安心な管理・運営を通して、スポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできる「場・機会」を提供しました。

◆主な施設の利用状況(3年間比較)

施設	令和4年度	令和3年度	令和2年度	R4/R3
横浜市スポーツセンター	1,866,157人 (12施設)	1,661,464人 (16施設)	1,680,410人 (16施設)	112.3%
横浜市平沼記念体育館	100,795人	70,277人	51,344人	143.4%
横浜市青少年野外活動センター	41,918人	25,546人	16,117人	164.1%
横浜市少年自然の家	12,998人	6,579人	4,247人	197.6%
横浜国際プール	540,327人	434,908人	317,842人	124.2%
新横浜公園	1,540,899人	609,450人	380,864人	252.8%
三ツ沢公園	482,911人	371,397人	176,401人	130.0%
横浜市スポーツ医科学センター	191,170人	152,366人	117,458人	125.5%
テニスガーデン	167,563人	178,389人	135,691人	93.9%
横浜銀行アイスアリーナ	231,723人	171,059人	100,773人	135.5%
横浜武道館	1,102,039人	610,134人	149,054人	180.6%

(1) 指定管理施設

ア 横浜市スポーツセンター

スポーツセンター12館（神奈川区・西区・南区・保土ヶ谷区・港北区・青葉区を除く）の管理運営を行いました。天井改修等工事により、栄は4月1日から2月28日まで、鶴見・中は6月1日から長期休館となりました。

栄については、天井改修工事からの営業再開にあたって、地元自治会など関係者向けの内覧会や区民向けのイベントを開催し、広く営業再開をPRしました。

新型コロナウイルス感染症への感染対策を施しながら、安全・安心な利用に留意してトレーニング室や卓球・バドミントン等の個人利用、各種スポーツの団体利用、また小さなお子様から高齢の方までを対象とした各種スポーツ教室、イベントを開催し、スポーツ・レクリエーション活動を推進しました。



◆利用実績

施設名	利用人数(内、個人利用人数)	施設名	利用人数(内、個人利用人数)
鶴見	31,163 人(8,783 人)	緑	206,041 人(44,279 人)
中	18,426 人(5,344 人)	都筑	171,436 人(39,560 人)
港南	217,248 人(29,376 人)	戸塚	241,287 人(65,598 人)
旭	160,680 人(30,745 人)	栄	17,648 人(4,159 人)
磯子	190,150 人(40,455 人)	泉	224,221 人(51,457 人)
金沢	194,653 人(48,693 人)	瀬谷	193,204 人(47,545 人)
合計	1,866,157 人(415,994 人)		

イ 横浜市栄公会堂

天井改修工事のため栄スポーツセンターと合わせて休館し、3月1日から営業を再開しました。

◆利用実績

団体数	151 団体	利用人数	6,126 人
-----	--------	------	---------

ウ 横浜国際プール

当協会とコナミスポーツ(株)・(株)トーリツとの3社で指定管理者グループを形成し、プールやトレーニングルーム、テニスコートなどの管理運営を行ったほか、各種スポーツ・文化教室を開催しました。

4月28日から5月1日まで第98回日本選手権水泳競技大会・競泳競技が17年ぶりに横浜国際プールで開催されました。

また、7月17・18日には、「東京2020オリンピックパラリンピック」のレガシーイベントとして企画した「第1回インクルーシブ水泳競技大会」を主催しました。

さらに、メインプールをスポーツフロア化した冬季には、横浜ビー・コルセアーズのホームアリーナとして、Bリーグの公式戦25試合が行われました。同チームの快進撃による人気上昇に伴い、観戦入場者数は過去最多を記録しました。



◆利用実績

種別	利用人数
個人利用	213,570 人
団体利用	31,477 人
優先利用人数(大会等)	191,073 人
教室参加人数	104,207 人
合計	540,327 人

◆主な行事

大会・行事名	開催月	入場者数
第 98 回日本選手権水泳競技大会 競泳競技	4/28-5/1	8,516 人
横浜ビー・コルセアーズホームゲーム 25 試合	10 月～3 月	102,814 人

エ 横浜武道館

株式会社 YOKOHAMA 文体の構成員として、横浜武道館の管理運営を行いました。

各種スポーツ団体、興行団体における大規模なイベント等での利用のほか、武道場、多目的室では、多様なサークル団体による活動でも多くの利用がありました。

また、横浜武道館の自主事業として、地域の皆様が気軽に参加できる教室を 36 教室実施し、年間延べ 20,900 名の参加がありました。

メインアリーナは稼働率 97%を超え、5,826 団体、100 万人を超える利用がありました。

12 月 1 日より、横浜武道館のブランド価値向上を目的として、横浜市と友好・交流に関する協定を結ぶ、群馬県昭和村唯一のワイナリーである奥利根ワイン株式会社とコラボした「武道ワイン」を製作・販売しました。横浜武道館への来場記念としてご購入いただいております。



超ときめき♡宣伝部
(コンサート)



バドミントン S/J LEAGUE 2022



武道ワイン

◆利用実績

利用団体数	利用人数
5,826 団体	1,102,039 人

◆主なイベント

イベント名	開催月日	入場者数
超ときめき♡宣伝部(コンサート)	5 月 28 日	延べ 2,800 人
Bリーグ横浜エクスセンス vs 金沢武士団 10/15・16	10 月 15 日・16 日	延べ 3,955 人
STYLING COLLECTION 2022 決勝大会	11 月 15 日	800 人
バドミントン S/J LEAGUE 2022	12 月 10 日	2,400 人
PANCLASS330(総合格闘技)	12 月 25 日	1,099 人
第 24 回 Wリーグ 富士通レッドウェーブホームゲーム	1 月 21 日・22 日	延べ 2,900 人

オ 横浜市平沼記念体育館

三ツ沢公園内にある平沼記念体育館の管理運営を行いました。

各競技団体によるフットサルやハンドボールなどの利用のほか、各種大会が開催されました。

◆利用実績

種別	利用人数
個人利用	1,709 人
団体利用	99,086 人(3,672 団体)
うちスポーツ教室	うち 5,612 人(全 10 教室)
合計	100,795 人

カ 横浜市青少年野外活動センター

三ツ沢公園（神奈川区）、くろがね（青葉区）、こども自然公園（旭区）の各青少年野外活動センターの管理運営を行いました。

青少年への集団宿泊体験の場の提供や、自然環境を生かしたプログラムの指導及び野外活動教室事業を実施しました。

◆利用実績

施設名	団体数	延べ利用人数
三ツ沢公園	488 団体	11,939 人
くろがね	688 団体	10,217 人
こども自然公園	775 団体	19,762 人
合計	1,951 団体	41,918 人

◆野外活動教室の実施

施設名	教室数	延べ参加人数
三ツ沢公園	20 教室	2,921 人
くろがね	22 教室	2,071 人
こども自然公園	15 教室	4,406 人
合計	57 教室	9,398 人



キ 横浜市少年自然の家

赤城林間学園（群馬県）及び南伊豆臨海学園（静岡県）の管理運営を行いました。

シーカヤック、ハイキング、自然観察、創作活動などの自然体験等の学習の場を提供しました。

◆利用実績

施設名	団体数	延べ利用人数
赤城	91 団体	8,480 人
南伊豆	72 団体	4,518 人
合計	163 団体	12,998 人

◆野外活動教室の実施

施設名	教室数	延べ参加人数
赤城	6 教室	214 人
南伊豆	6 教室	394 人
合計	12 教室	608 人



ク 新横浜公園／日産スタジアム等

横浜市スポーツ協会、F・マリノススポーツクラブ、管理JV（ハリマビシステム他4社）が共同事業体を構成し、日産スタジアムを含む新横浜公園（67.8ha）の管理運営を行いました。

日産スタジアムでは、3年ぶりにJリーグ制覇を成し遂げた横浜F・マリノスホームゲーム全13試合、ジャパンラグビーリーグワン（横浜キヤノンイーグルス戦）1試合が開催されたほか、4年ぶりに有観客（7万人規模）でのコンサート（3公演6日間）が行われました。

水と緑が豊かな新横浜公園では、四季折々の生きもの観察会等を実施するとともに、園内の各施設（運動広場など）は市民大会や区民大会等でにぎわいました。

◆利用実績

施設名	利用人数
日産スタジアム(国内最大7万2千人収容)	815,313人
日産フィールド小机	33,605人
日産ウォーターパーク	111,794人
新横浜公園内有料施設(北側園地)	121,025人
新横浜公園内無料施設(イベント利用のみ)	290,812人
しんよこフットボールパーク	98,612人
ドッグラン	69,738人
合計	1,540,899人



Jリーグ 横浜F・マリノス戦

①日産スタジアム（日本陸連第1種公認陸上競技場）

◆主なイベント

イベント名	開催月	入場者数
Jリーグ(13試合)	4～3月	322,548人
ジャパンラグビーリーグワン(1試合)	4月	8,299人
第102回天皇杯全日本サッカー選手権大会決勝	10月	37,998人
第38回全国小学生陸上競技交流大会	8月	4,646人

②日産フィールド小机（日本陸連第3種公認陸上競技場）

◆主なイベント

イベント名	開催月	入場者数
プレミアムリーグ(9試合)	4～12月	800人
JA全農チビリンピック2022	5月	3,060人
港北駅伝大会	1月	1,950人

③日産ウォーターパーク（温水利用型の22種類のプール）

④北側園地有料施設（野球場、運動広場第1・第2、投てき練習場、テニスコート、ドッグラン、球技場）

⑤新横浜公園内無料施設（スケボー広場、インラインスケート広場1・2、バスケットボール広場、壁打ちテニスコート、公園内園路、広場等）

ケ ミツ沢公園

横浜市緑の協会・横浜市スポーツ協会が共同事業体を構成して運営する、三ツ沢公園のうち、ニッパツ三ツ沢球技場、陸上競技場、補助陸上競技場及び馬術練習場の管理運営を行いました。

球技場では、Ｊリーグ、なでしこリーグなどの利用がシーズンを通して行われ、ラグビーリーグワンなどの利用もありました。コロナ規制が残る中、稼働率の非常に高い施設の運営を着実に行いました。

陸上競技場では、市や県の陸上記録会、各種市民大会や区民大会等が開催されました。

そのほか、「ブラインドサッカー体験会」、球技場の芝生に入ることができる「芝生にふれよう」、横浜サッカー協会と共催での「ガールズカップ」、馬術練習場での「餌やり体験」などの自主事業を行いました。

◆利用実績

施設	利用人数
ニッパツ三ツ沢球技場	235,162 人
三ツ沢陸上競技場	126,592 人
三ツ沢補助陸上競技場	109,262 人
馬術練習場	11,895 人
合計	482,911 人



ニッパツ三ツ沢球技場

◆主なイベント（ニッパツ三ツ沢球技場）

イベント名	開催月	入場者数
J2 横浜 FC、J1 横浜 F・マリノス 19 試合（ルヴァンカップ含む）	4～10 月	106,304 人
J1 横浜 FC、横浜 F・マリノス 6 試合	2、3 月	46,968 人
J3 Y.S.C.C.、SC 相模原 19 試合	4～3 月	25,600 人
なでしこリーグ1部（日体大 SMG 横浜、ニッパツ横浜 FC シーガールズ）12 試合	4～3 月	6,154 人
サッカー天皇杯2、3 回戦 3 試合	6 月	7,039 人
第 100 回全国高等学校サッカー選手権大会 1 回戦、2 回戦	12 月	5,674 人
ジャパンラグビーリーグワン 3 試合	12～2 月	18,763 人



陸上競技大会・記録会



ブラインドサッカー体験会



ガールズカップ

コ 横浜市スポーツ医科学センター

クリニック（内科・循環器内科・整形外科・スポーツ整形外科・リハビリテーション科）、大・小アリーナ（体育館）、25mプール、トレーニングルーム、研修室などの管理運営を行いました。施設の特徴を活かし、体操・水泳などのスポーツ教室や健康教室のほか、減量・脂肪燃焼教室や筋力向上・姿勢改善教室などの目的別教室等を実施しました。

また、プロや実業団のスポーツチーム等を対象としたメディカルチェックや各競技に即した専門的な体力測定を実施しました。

①スポーツプログラムサービス（SPS）

医学的検査・運動負荷試験・体力測定の実施結果により、生活・栄養・運動について、医師・管理栄養士・スポーツ科学員などの専門スタッフがアドバイスする「スポーツ版人間ドック」を行いました。

②クリニック（内科・循環器内科・整形外科・スポーツ整形外科・リハビリテーション科）

スポーツ医学に基づく様々な治療をアマチュアからトップアスリートに対して提供しました。

③メディカルエクササイズコース（MEC）

内科的・整形外科的疾患を抱え、積極的に運動することで改善が望める方を対象にした医学的運動療法を実施しました。

④講座・講演

行政や競技団体からの依頼を受け、管理栄養士や理学療法士、運動指導員等が講師となり、健康に関する講演や実技指導について、ビデオ会議システムも活用して実施しました。

⑤産官学連携による事業推進

横浜市が医療・健康分野の産官学連携を推進する「LIP.横浜」の協力機関として、デジタルヘルスケア分野の新技术・新製品の開発を支援する専門家集団に診療部の担当課長が参画しました。

⑥電子カルテ等医療システムの稼働

長年の課題であった電子カルテ等医療システムの事業者を決定し、稼働準備を行い、令和5年4月1日に稼働しました。

◆利用実績

種別		人数
スポーツプログラムサービス		1,223人
クリニック	内科	3,692人
	整形外科	21,687人
	リハビリテーション科	45,415人
	MEC	10,225人
施設利用		37,992人
講座・講演		58人
自主事業		70,878人
合計		191,170人



電子カルテ等
医療システムの構築

(4)その他施設

ア 横浜銀行アイスアリーナ

国際規格を満たすスケートリンク施設の管理運営を行いました。一般滑走利用や氷上スポーツ団体等への貸出、各種教室事業やイベント事業を実施し、アイススケートを中心に氷上スポーツの場を提供しました。

また、当リンクを拠点に活躍するフィギュアスケート選手の育成にも力を入れ、国内外の大会で優秀な成績を残すなど活躍しました。



◆利用実績

一般利用者	61,807人
団体利用者	9,068人
教室利用者	111,087人
貸切利用者	49,761人
合計	231,723人

◆主なイベント

イベント名	開催月	参加人数
アイスフェスティバル 2022	5月	97人
JCA カーリングスクール横浜 2022	7月	240人
スポレク 2022 親子スケート教室	10月	190人
横浜銀行 Presents 親子スケート	11月	200人

イ 横浜市鶴見川漕艇場

ボート・カヌーの利用、貸出しを行いました。また、初心者を対象としたボートやカヌーの教室を7教室開催し、306人が参加しました。

◆利用実績

艇利用数	3,097艇
利用人数	18,134人

ウ たきがしら会館

近隣の地域住民や団体、企業などの利用を促進するとともに、プロバスケットボールチーム横浜ビー・コルセアーズの練習場として5月31日まで利用され、天井改修等工事により6月1日から長期休館となりました。

なお、当協会による施設運営は令和5年3月31日で終了しました。

◆利用実績

利用団体数	821団体
利用人数	9,242人

エ 屋外プール

横浜プールセンターは、設備の老朽化により営業休止中です。

オ テニスガーデン

緑テニスガーデン(10面)、根岸テニスガーデン(9面)、泉中央テニスガーデン(11面)の管理運営を行いました。テニスコートの一般貸出しを行ったほか、子どもから大人まで広く市民が参加できるテニス教室を開催しました。

◆利用実績

施設名	利用人数	貸コート人数	教室参加人数	イベント参加人数
緑テニスガーデン	45,762 人	31,223 人	13,382 人	1,157 人
根岸テニスガーデン	81,325 人	30,442 人	49,284 人	1,599 人
泉中央テニスガーデン	40,476 人	23,625 人	13,619 人	3,232 人
合 計	167,563 人	85,290 人	76,285 人	5,988 人

9 その他事業

(1)横浜こどもスポーツ基金 【定款第4条第1項第1号、第5号】

寄付を原資とした「横浜こどもスポーツ基金」を運用し、スポーツを通じて、障害のあるこどもたち等を支援・援助することを目的とした事業への支援活動（寄付・助成等）を行いました。

◆事業助成・・・16,047,746 円（14 件）

(2)賛助会員事業 【定款第4条第1項第6号、第5条第1項第2号】

当協会が実施する各種事業を推進していくための財源として活用するため、協会の理念やそれに基づくさまざまな活動に賛同していただける、個人・団体からの寄付金を賛助会費として募りました。

(3)新横浜駐車場の運営 【定款第5条第1項第2号】

横浜アリーナに近接する新横浜駐車場の運営を行いました。

種別	延べ利用台数
月極駐車場	22 台
時間貸駐車場	69,569 台

Ⅱ 処務の概要

1 評議員に関する事項【定款第11条】

(令和5年3月31日現在 評議員 27名)

No	役職	氏名	所属等
1	評議員	石島孝志	横浜市綱引連盟理事長
2	評議員	伊藤嘉章	横浜市アーチェリー協会副会長
3	評議員	小野謙治	横浜市日本拳法連盟理事長
4	評議員	小野智史	横浜市ダンススポーツ連盟理事
5	評議員	倉又明美	横浜市なぎなた連盟理事長
6	評議員	小清水秀雄	横浜市山岳協会会長
7	評議員	小島永三	横浜バスケットボール協会会長
8	評議員	滝川成信	横浜市バドミントン協会常任理事
9	評議員	武石敏勝	特定非営利活動法人横浜市馬術協会会長
10	評議員	田邊賢一	横浜市スポーツチャンバラ協会会長
11	評議員	星真太郎	特定非営利活動法人横浜市ボート協会理事
12	評議員	川戸政角	西区スポーツ協会会長
13	評議員	下田秀美	保土ヶ谷区スポーツ協会副会長
14	評議員	小宮寛之	横浜市立小学校体育研究会顧問
15	評議員	小田治男	一般社団法人横浜市医師会横浜スポーツ医会会長
16	評議員	上條浩	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団常務理事 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール館長
17	評議員	高橋和子	横浜国立大学名誉教授、静岡産業大学教授
18	評議員	富田幸博	日本体育大学特任教授、横浜医療専門学校校長
19	評議員	沼澤秀雄	立教大学コミュニティ福祉学部教授
20	評議員	加藤直裕	横浜エフエム放送株式会社制作部長
21	評議員	嶋田充郎	株式会社テレビ神奈川取締役編成・報道担当編成局長
22	評議員	真野太樹	株式会社神奈川新聞社統合編集局運動部長
23	評議員	白坂光二	日本放送協会横浜放送局長
24	評議員	石川隆一	横浜市教育委員会事務局学校教育企画部長
25	評議員	熊坂俊博	横浜市市民局スポーツ振興担当部長
26	評議員	藤田辰一郎	横浜市環境創造局公園緑地部長
27	評議員	坂本今朝幸	南区スポーツ推進委員連絡協議会会長

1 評議員人事（定款第 11 条）

(1) 令和4年6月 30 日付辞任

神山 篤、 福山 浩一郎

(2) 令和4年7月 13 日付就任

上條 浩、 白坂 光二

(3) 令和4年 10 月 31 日付辞任

下屋敷 聡

(4) 令和5年1月23日付就任

真野 太樹

(5) 令和5年3月31日付辞任

藤田 辰一郎

2 評議員選定委員会に関する事項（定款第 12 条）

	開 催 日	決議事項
1	7 月 13 日	・ 評議員の選任の件
2	1 月 23 日	・ 評議員の選任の件

3 評議員会に関する事項（定款第 16 条、第 17 条、第 20 条）

	開 催 日 等	決議事項
1	6 月 27 日	・ 令和 3 年度事業報告及び決算の承認の件 ・ 役員選任の件 ・ 評議員候補者の推薦の件 ・ 役員報酬規程改正の件
2	12 月 28 日 決議の省略の方法による	・ 評議員候補者の推薦の件

2 役員に関する事項【定款第 22 条】

(令和 5 年 3 月 31 日現在 理事 19 名 監事 2 名)

No	役職	氏 名	所 属 等
1	会 長	山 口 宏	横浜野球協会会長・横浜野球連盟会長 中区スポーツ協会会長・榊共栄社代表取締役社長
2	副会長 兼 専務理事	栗 田 る み	専務理事
3	副会長	日 下 啓 二	横浜市テニス協会会長
4	副会長	伊 澤 万 樹	旭区スポーツ協会会長
5	副会長	吉 備 カ ヨ	株式会社ジョビア代表取締役社長
6	常務理事	黒 川 正 人	事務局長 兼 総務経営局長
7	常務理事	藤 野 純	スポーツ施設局長
8	常務理事	高 橋 寛	スポーツ事業局長兼大規模スポーツイベント担当局長
9	常務理事	井 上 幸 一	公園管理局長
10	常務理事	川 瀬 伸 二	警備統括監
11	理 事	石 井 和 則	一般社団法人横浜サッカー協会理事
12	理 事	草 野 茂	一般社団法人横浜水泳協会副会長兼専務理事
13	理 事	中 村 博	横浜ハンドボール協会理事長
14	理 事	平 岡 可奈之	横浜市卓球協会副理事長
15	理 事	米 持 眞 吾	一般社団法人横浜市陸上競技協会理事長
16	理 事	庄 司 勉	港南区スポーツ協会事務局長
17	理 事	小 泉 純 一	横浜市中学校体育連盟会長
18	理 事	玉 木 伸 和	横浜市立大学名誉教授
19	理 事	直 井 ユカリ	横浜市市民局スポーツ統括室長
1	監 事	鈴 木 常 夫	横浜市柔道協会理事長
2	監 事	齋 藤 貴 司	ベイ・タックス税理士法人代表社員税理士

1 役員人事（定款第 22 条）

(1) 令和 4 年 6 月 27 日付就任

常務理事 黒川 正人、 常務理事 藤野 純、 理事 直井 ユカリ

(2) 令和 5 年 3 月 31 日付辞任

常務理事 栗田 るみ、 理事 小泉 純一、 理事 直井 ユカリ

2 理事会に関する事項（定款第 31 条、32 条、35 条）

	開催日(決議成立日)	決議及び承認事項 等
1	6 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 3 年度事業報告及び決算の承認の件 ・ 評議員会の日時、場所及び付議する事項の決定の件 ・ 評議員候補者推薦の件 ・ 理事候補者推薦の件 (代表理事及び業務執行理事の職務執行報告)
2	7 月 13 日 決議の省略の方法による	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役付理事の選定の件 ・ 委員会委員等の承認の件
3	12 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 4 年度横浜スポーツ表彰被表彰者の決定の件 ・ 令和 2 年度及び令和 3 年度における公益目的事業の剰余金の取り扱いの件 ・ 評議員候補者推薦の件 ・ 評議員会の日時、場所及び付議する事項の決定の件 (代表理事及び業務執行理事の職務執行報告)
4	3 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 5 年度事業計画書及び予算書の承認の件 ・ 理事の利益相反取引の承認の件 ・ 重要な職員の任命の承認の件 ・ 理事候補者承認の件 ・ 評議員会の日時、場所及び付議する事項の決定の件

3 職員に関する事項【定款第 42 条】

固有職員	再雇用職員	一般職員	横浜市派遣職員	嘱託職員	合 計
155 名	12 名	6 名	5 名	87 名	265 名

(令和5年3月 31 日現在)

4 委員会に関する事項等【定款第 43 条】

1 専門委員会

	開催日	議 題
総務	3 月 17 日	役員等の退任に伴う感謝状及び記念品の贈呈に関する内規と細目の一部改正について ほか
市民スポーツ	11 月 28 日	令和 4 年度横浜スポーツ普及功労者候補者について ほか
競技	新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催せず	

2 連絡協議会

	開催日	議 題
加盟団体 代表者会議	11月10日	学校運動部活動の地域移行について ほか
区体協 代表者会議	6月20日	副委員長候補の推薦、運動部活動地域移行について、 各区情報交換ほか
	9月12日	横浜市スポーツ施設優先利用、 運動部活動地域移行について、各区情報交換
	11月21日	横浜市スポーツ協会役員、 スポーツセンター休館について、各区情報交換
	2月13日	横浜市スポーツ協会役員改選、 ホームページの改修について、各区情報交換

5 加盟団体に関する事項【定款第44条】

加盟競技団体	加盟学校団体	加盟地域団体	加盟 スポーツ団体	合 計
52 団体	3 団体	18 団体	1 団体	74 団体

Ⅲ 資料

1 中期計画達成状況

2 表彰

横浜市スポーツ栄誉賞

スポーツ功労賞

優秀指導者賞

優秀選手賞

スポーツ奨励賞

横浜スポーツ普及功労者賞

3 賛助会員

特別企業・団体会員

特別個人会員

企業・団体会員

個人会員

1 中期計画達成状況

■第5期中期計画（令和4年度実績）

目標		成果指標	達成状況
1	市民ニーズを捉えた収益力の強化	①定員に対する事業参加率を66%以上とする	未達成 (56.5%)
		②予算における自主事業（指定管理施設を除く）の収入を2020年度比8%以上増	未達成 (0.3%)
		③新たな収益事業の創出	達成 (90事業)
2	多様な事業に対応する競争力の強化	①応募する全ての指定管理施設の獲得	該当なし (0/0施設)
		②健康運動指導士の資格試験に3人以上合格	達成 (3人)
		③SDGsの目標を設定し、取り組みを公表する	達成
3	持続可能な組織となるための財務基盤強化	①流動比率を2020年度決算より20%以上増	未達成 (-0.3%)
		②自己資本比率を2020年度決算より3%以上増	達成 (5.7%)
4	横浜市スポーツ推進計画実現への貢献	次期横浜市スポーツ推進計画の目標達成に貢献するための機会を提供	達成 (52,268事業)

2 表彰

1 横浜市スポーツ栄誉賞（オリンピック及びパラリンピック、若しくはこれに準ずる大会において顕著な功績を残した者）

No	氏名	大会名・種目・成績
1	高木 美帆	第 24 回オリンピック冬季競技大会 スピードスケート 女子 1000m 金メダル スピードスケート 女子 500m 銀メダル スピードスケート 女子 1500m 銀メダル スピードスケート 女子パシュート 銀メダル
2	鍵山 優真	第 24 回オリンピック冬季競技大会 フィギアスケート 男子シングル 銀メダル フィギアスケート 団体 銅メダル
3	早瀬 久美	第 24 回夏季デフリンピック競技大会 マウンテンバイククロスカントリー女子 銀メダル
4	川口 功人	第 24 回夏季デフリンピック競技大会 卓球 男子団体 銅メダル

2 スポーツ功労賞（体育・スポーツの進歩・発展に顕著な功績をなした者、及び価値ある研究調査をなした者）

No	氏名	所属	No	氏名	所属
1	木村 英一	横浜市バドミントン協会	18	川中 知江子	横浜市レクリエーション連合
2	後藤 淳子	横浜バスケットボール協会	19	中西 みよ子	横浜市レクリエーション連合
3	石坂 雄一	横浜バレーボール協会	20	大熊 ミチ子	横浜市レクリエーション連合
4	中野 賢一	一般社団法人横浜市陸上競技協会	21	高田 瑞穂	神奈川区スポーツ協会
5	小野 隆夫	横浜市卓球協会	22	常盤木 宏之	西区スポーツ協会
6	葉師寺 幸子	横浜市体操協会	23	吉井 肇	南区スポーツ協会
7	小倉 信一	横浜市ソフトボール協会	24	清木 勝利	港南区スポーツ協会
8	勝山 泰治	横浜野球協会	25	葛西 清夫	保土ヶ谷区スポーツ協会
9	種村 茂夫	横浜野球連盟	26	譲原 妥	旭区スポーツ協会
10	城田 政春	横浜市剣道連盟	27	中根 滋男	金沢区スポーツ協会
11	近野 朗生	横浜市テニス協会	28	星野 将行	都筑区体育協会
12	岩澤 明彦	一般社団法人横浜サッカー協会	29	大力 善博	戸塚区スポーツ協会
13	中根 直人	横浜市柔道協会	30	久保田 廣	泉区スポーツ協会
14	山下 眞一	横浜市山岳協会	31	早川 俊行	瀬谷区スポーツ協会
15	古澤 順子	横浜市アマチュアボクシング協会	32	梅田 巖	横浜市立小学校体育研究会
16	小林 進	NPO 法人横浜市ボート協会	33	中野 瑞枝	横浜市中学校体育連盟
17	川崎 敦子	横浜市インディアカ協会			

3 優秀指導者賞（体育・スポーツの指導者として、優秀な選手又はチームを育成した者）

No	氏名	所属	No	氏名	所属
1	上田 菊代	一般社団法人横浜市陸上競技協会	4	田村 知佳	瀬谷区スポーツ協会
2	瀬尾 京子	横浜市体操協会	5	村上 智海	神奈川県テコンドー協会
3	高田 健太郎	横浜市柔道協会			

4 優秀選手賞（著名な大会で優秀な成績を収めた個人・団体）

(1)個人

No	氏名	所属	No	氏名	所属
1	男全 圭人	YANG YANG	56	渡邊 二瑚	横浜市立中山中学校・県立武道館 スポチャンクラブ
2	熊倉 佑	LUCKY	57	菊澤 直樹	関東学院大学権剣会スポチャンクラブ
3	川原 あず沙	LUCKY	58	内山 皓貴	横浜市立東台小学校 スポチャンつばさクラブ
4	佐々木 卓	ぎんなん会	59	平田 釉莉	LITTLE STAR BATON TEAM
5	佐々木 尚子	HOTSHOT	60	齋藤 晟	杉浦紀子バトンスタジオ
6	薄田 健太郎	筑波大学大学院	61	池田 りずむ	ヨコハマリトルメジャレッツ
7	米山 和磨	横浜市立茅ヶ崎中学校	62	タカギ ルナ	中区ダンススポーツ連盟
8	松島 輝空	星槎中学校	63	海老原 拳人	中区ダンススポーツ連盟
9	ゼルナ イ恩	クラーク記念国際高等学校横浜キャンパス	64	濱崎 姫琉	横浜市立原中学校
10	小塩 悠菜	星槎中学校	65	藤井 咲名	日本体育大学
11	花島 なつみ	日本体育大学	66	石井 桜汰	神奈川大学
12	芦川 うらら	日本体育大学	67	吉田 凧歩	神奈川大学
13	山口 幸空	米田功体操クラブ	68	齋藤 駿	神奈川大学
14	藤井 裕菜	鶴見ジュニア体操クラブ	69	高木 美帆	日本体育大学
15	阿部 由依	鶴見ジュニア体操クラブ	70	鍵山 優真	星槎国際高等学校横浜
16	小川 莉昊	米田功体操クラブ	71	阿渡 健太	日揮ホールディングス株式会社
17	塩津 愛	横浜市立岡野中学校	72	時田 里緒	炫武館
18	内田 千帆	横浜市立岡野中学校	73	芹澤 美佳	炫武館
19	和田 悠青	横浜 F・マリノスユース	74	田中 舞穂	炫武館
20	上西 遥喜	横浜 F・マリノスユース	75	大岡 勇輝	炫武館
21	白須 健斗	横浜 F・マリノスユース	76	加藤 茜	国土交通省
22	望月 耕平	横浜 F・マリノスユース	77	山本 拓海	株式会社ピーズインターナショナル
23	徳田 佑真	横浜 F・マリノスユース	78	正木 楓	町田市役所
24	山下 将真	横浜 F・マリノスユース	79	白石 寛太	星槎学園高等部 湘南校
25	吉沢 実頼	横浜 F・マリノスユース	80	芹澤 美希香	東急プロパティマネジメント株式会社

26	埜口 怜乃	横浜 F・マリノスユース	81	木下 萌実	
27	笹 步睦	横浜 F C ユース	82	川淵 大耀	横浜市立新田中学校
28	高橋 友矢	横浜 F C ユース	83	日向 楓	神奈川県立旭高等学校
29	井戸 孔晟	Y. S. C. C. 横浜	84	山田 和男	
30	渡部 麗	日体大 S M G 横浜 日本体育大学学友会サッカー部女子	85	金房 健司	株式会社ゼロ
31	藤田 譲瑠チマ	横浜 F・マリノス	86	山根 康平	サントリービバレッジソリューション 株式会社
32	門井 恵美	Y. S. C. C. コスモス	87	松村 大樹	
33	佐藤 花恵	桐蔭横浜大学フットサル部エッグプラント	88	佐藤 夏菜子	東洋英和女学院大学
34	森 麻優奈	桐蔭横浜大学フットサル部エッグプラント	89	初海 達也	株式会社 AOKI
35	鈴木 常夫	横浜市柔道協会	90	宮村 凌旗	楽天ソシオビジネス株式会社
36	佐藤 幸範	神奈川県警察	91	辻田 愛稀	横浜市立城郷中学校
37	柴崎 文伸	神奈川県警察	92	猿樂 彩香	横須賀市立ろう学校
38	福田 歩美也	スペシャルオリンピックス日本・神奈川 柔道横浜プログラム	93	石松 陽太	横浜市立二つ橋高等特別支援学校
39	濱田 王子朗	土曜柔道会	94	田村 海斗	横浜市立二つ橋高等特別支援学校
40	山田 将大	セントラル東戸塚	95	本 由佳子	品川区役所
41	牧野 航介	ヨコハマスイミングクラブ	96	上野 卓也	神奈川県立横浜平沼高等学校
42	石川 真菜	横浜市立南が丘中学校・イトマンスイミング スクール港北校	97	林田 泰河	横浜市神奈川区役所
43	小島 優々美	白鵬女子高等学校	98	吉川 碧人	株式会社ニッパツ・ハーモニー
44	小方 颯	イトマンスイミングスクール港北校	99	岩本 侑馬	横浜市立日野中央高等特別支援学校
45	小堀 倭加	セントラルスポーツクラブ戸塚	100	吉原 耕	
46	児玉 海生	イトマンスイミングスクール港北校	101	栗田 くるみ	
47	三井 愛梨	横浜サクラスイミングスクール	102	杉山 達行	日産車体株式会社
48	坂本 由宇	神奈川大学レスリング部	103	阿部 恒男	
49	水潤 琉奈	神奈川大学レスリング部	104	戸澤 和馬	富士通 Japan 株式会社
50	新倉 すみれ	神奈川大学レスリング部	105	坂上 まり子	
51	井上 智裕	富士工業株式会社	106	八巻 柊真	株式会社オールジャパンサービス
52	山口 蓮汰	神奈川大学レスリング部	107	今村 風吹	
53	関口 蓮太郎	日本大学藤沢高等学校	108	向井 幸治	
54	森 優太	誠和会(豊鉄筋)	109	小寺 準	丸全昭和運輸株式会社
55	本 大志	目黒日本大学高等学校			

(2)チーム

No	チーム名	No	チーム名
1	日本体育大学 女子体操競技部	6	県立武道館スポチャンクラブ
2	スポーツクラブ&スパルネサンス港南中央	7	スポチャンつばさクラブ
3	イトマン港北	8	横浜隼人高等学校 女子硬式野球部
4	イトマン港北	9	YOKOHAMA TKM
5	横浜市立西谷中学校	10	ENEOS 野球部

5 スポーツ奨励賞（マスターズ選手権大会等において優秀な成績をあげた個人・団体）

(1)個人

No	氏名	所属	No	氏名	所属
1	稲垣 寿恵子	ウッドテニスクラブ	17	野口 拓子	チーム・拓
2	安藤 正信	NEC 玉川	18	三浦 彩華	ルネサンス港南台
3	一木 真美子	T・カナロア	19	広瀬 百合香	ルネサンス港南台
4	湯沢 倫子	T・カナロア	20	水谷 吉朗	ミツミネキャリアアカデミー
5	米沢 祥子	サンウェイ横浜	21	森 正英	フジッコ NEW デリカ株式会社
6	吉澤 君子	サンウェイ横浜	22	三木 栄作	有限会社サンキョー
7	榊 愛子	サンウェイ横浜	23	佐藤 花月	櫻空横浜
8	倉田 政枝	サンウェイ横浜	24	中村 秀司	誠和会
9	寺田 定夫	サンウェイ横浜	25	宮國 淳	剛柔流空手道 尚徳館朝比奈
10	須藤 政男	サンウェイ横浜	26	平島 夏帆	日本空手協会照己館
11	材津 増男	サンウェイ横浜	27	木村 都優司	愛川
12	池田 秀雄	サンウェイ横浜	28	金子 澄子	教職員連盟
13	畔柳 美津子	両国きんぎょ	29	黒崎 二男	TK スペシャル
14	渡辺 眞智子	コナミスポーツクラブ横浜	30	小川 昌之	泉区
15	伊藤 篤	タウザー	31	小山 包博	
16	江波 久美子	ティップネス二俣川	32	近藤 明子	OBC

6 横浜スポーツ普及功労賞（地域においてスポーツの普及振興・スポーツクラブの育成のために寄与している者）

No	氏名	所属	No	氏名	所属
1	渡辺 紳	神奈川区野球協会	14	横田 隆教	磯子区スポーツ推進委員 連絡協議会
2	守屋 智美	神奈川区バスケットボール協会	15	芹沢 敏夫	都筑区卓球協会
3	住谷 勇	神奈川区スポーツ推進委員 連絡協議会	16	植木 勝久	都筑区バドミントン協会
4	安西 一正	西区野球連盟	17	阿部 寛仁	戸塚区野球協会
5	本間 修司	南区バスケットボール協会	18	伊藤 律郎	戸塚区弓道協会
6	高橋 由美子	南区剣道連盟	19	石川 潔	栄区少年野球連盟
7	青池 勇	港南区ゲートボール部	20	穴戸 園子	栄区弓道協会
8	吉田 仁	港南区剣道連盟	21	星野 有記子	栄区バレーボール協会
9	寺脇 康司	港南区野球協会	22	伊藤 忠雄	泉区少年野球連盟
10	蘭 透美	保土ヶ谷区テニス協会	23	大場 国男	泉区サッカー連盟
11	伊藤 京治	保土ヶ谷区スポーツ推進委員 連絡協議会	24	安西 利市	泉区ボウリング協会
12	松下 紘一	旭区スポーツ協会剣道部	25	高橋 一	瀬谷区陸上競技協会
13	村田 康子	旭区スポーツ協会バレーボール部	26	藤井 幸恵	瀬谷区バドミントン協会

3 賛助会員

※50音順・敬称略

特別企業・団体(17)					
(有)旭屋	東日本電信電話(株)神奈川事業部			横浜GRITS	
エクспローション合同会社	藤木企業(株)			(一社)横浜サッカー協会	
鹿島建物総合管理(株)	藤木陸運(株)			(株)横浜シミズ	
(株)共栄社	(株)フロアパンセ			(株)横浜スタジアム	
(株)キョーエーメック	(株)横浜アーチスト			(株)ロイヤルホール	
(株)トーリツ	横浜エレベータ(株)				
企業・団体(48)					
青葉区スポーツ協会	東横イン新横浜駅前本館			横浜市少林寺拳法連盟	
(株)安藤スポーツ	(一社)日本シティスポーツ協会			横浜市スキー協会	
(株)エイト	(株)ハウジングカネコ			横浜市スポーツチャンバラ協会	
(有)エスク	(有)平沼スポーツ店			横浜市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会	
NPO法人おれんじハウス	ベイ・タックス税理士法人			横浜市卓球協会	
神奈川県民共済生活協同組合	丸五運輸(株)			横浜市なぎなた連盟	
(株)環境造園	(株)山野井			NPO法人横浜市馬術協会	
(有)関東化染工業所	(公社)横浜インターナショナルテニスコミュニティ			横浜市婦人スポーツ団体連絡協議会	
(株)栗田園	よこはまウオーキング協会			横浜市ボウリング協会	
公益情報システム株式会社	横浜市合気道連盟			横浜市ラグビーフットボール協会	
(株)コネクト バドミントン事業部	横浜市インディアカ協会			(一社)横浜市陸上競技協会	
湘南建設(株)	横浜市弓道協会			横浜市レディースバドミントン連盟	
(株)スリーオークスコミュニティ	横浜市グラウンド・ゴルフ協会			(一社)横浜水泳協会	
太洋歯科クリニック	横浜市剣道連盟			横浜バスケットボール協会	
(株)TACT・JAPAN	横浜市柔道協会			横浜野球協会	
東京体育用品(株)	横浜市少年野球連盟学童部				
特別個人(17)					
阿部 哲治	日下 啓二	高井 祿郎	南部 信治	山口 宏	
河原 智	五反田 哲哉	高柳 和弘	馬場 正徳	山崎 善也	
吉備 カヨ	齊藤 禮二	田邊 賢一	平岡 可奈之	山田 力	
個人(79)					
浅野 修一	大澤 眞治郎	草野 茂	鈴木 浩	林 紘男	武藤 千恵子
伊澤 万樹	大辻 明	黒崎 二男	清野 宏之	廣瀬 正春	矢崎 真理
石井 和則	大庭 伸仁	小泉 隆志	妹尾 愛子	藤尾 不二枝	矢島 孝幸
石島 孝志	小野 謙治	小柴 邦幸	高野 啓子	淵脇 建夫	安田 恒雄
伊藤 隆介	小野 琢司	小宮 寛之	高橋 義成	古川 真澄	矢部 寛和
岩井 茂	貝道 和昭	齋藤 裕昭	滝川 成信	堀内 芳子	弓場 常正
岩井 功	加藤 宏子	三枝 勝巳	武居 和子	真壁 廣	横打 巖
岩倉 憲男	加藤 弘	佐藤 富美男	武田 功大	牧 義一	渡辺 良雄
岩本 博	金児 忠枝	下田 秀美	田中 義孝	松浦 隆	
宇田川 ユキ子	川口 俊行	庄司 勉	永嶺 隆司	松澤 賢吉	
梅田 巖	川戸 政角	杉浦 紀子	中山 次	丸山 隆	
瓜本 英二	河野 多恵子	鈴木 信太郎	夏田 智子	三ツ木 武	
大澤 浩希	及能 茂道	鈴木 常夫	菜花 好和	峰岸 義雄	

※非公開希望者は掲載していません。

公益財団法人横浜市スポーツ協会

〒231-0015

横浜市中区尾上町六丁目 81 番地

ニッセイ横浜尾上町ビル内

TEL 045-640-0011(代表)

FAX 045-640-0021

URL <https://www3.yspc.or.jp/>